

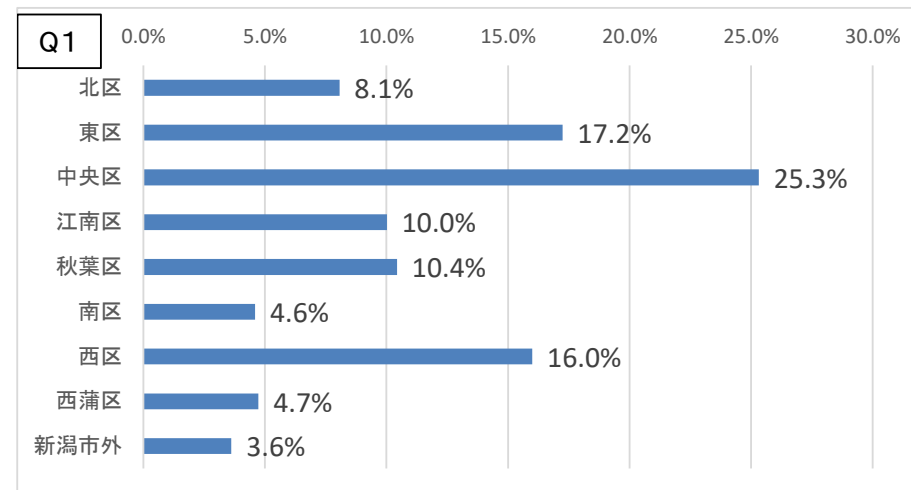
# 令和5年度 新潟市子ども条例 おとな向けアンケート集計結果

資料2 別紙

Q1 あなたのお住まいの区を教えてください。

選択肢	割合	件数
北区	8.1%	58
東区	17.2%	124
中央区	25.3%	182
江南区	10.0%	72
秋葉区	10.4%	75
南区	4.6%	33
西区	16.0%	115
西蒲区	4.7%	34
新潟市外	3.6%	26
	100.0%	719

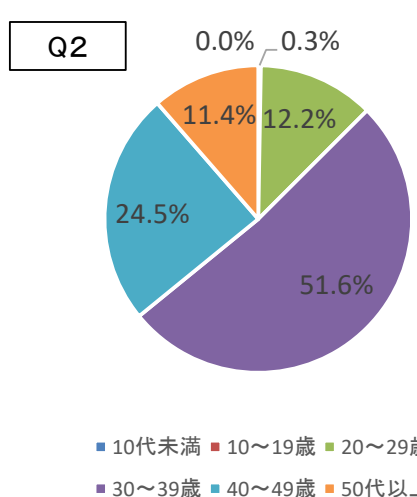
n= 719



Q2 あなたの年代を教えてください。

選択肢	割合	件数
10代未満	0.0%	0
10～19歳	0.3%	2
20～29歳	12.2%	88
30～39歳	51.6%	371
40～49歳	24.5%	176
50代以上	11.4%	82
	100.0%	719

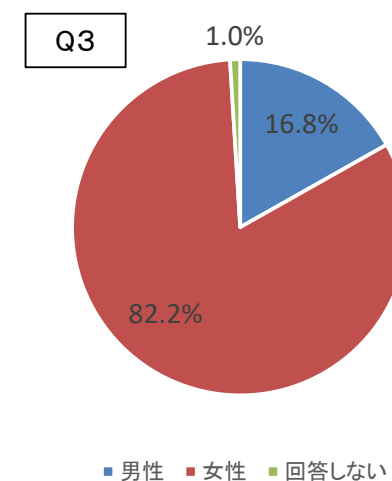
n= 719



Q3 あなたの性別を教えてください。

選択肢	割合	件数
男性	16.8%	121
女性	82.2%	591
回答しない	1.0%	7
	100.0%	719

n= 719



Q4 あなたのご家族にお子さん(18歳未満)はいますか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
いる(未就学児)	70.0%	503
いる(小学生)	26.4%	190
いる(中・高校生)	13.8%	99
いない	10.8%	78
	121.0%	870

n= 719

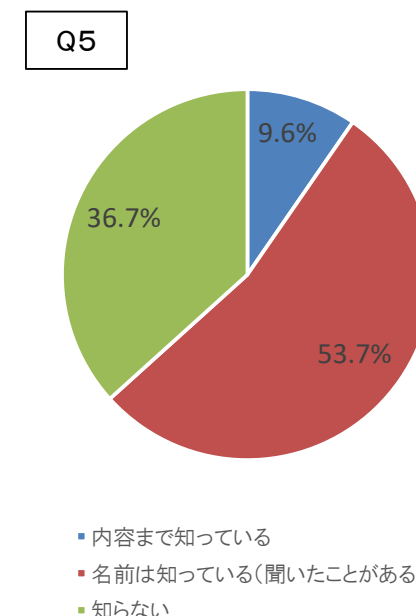
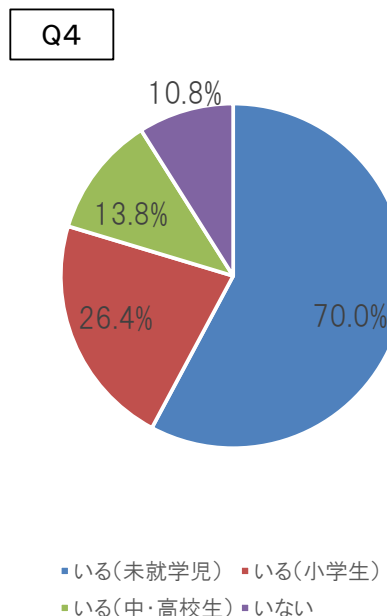
⇒ 未就学児をもつ保護者の方からの回答が7割を占めています。

Q5 新潟市子ども条例を知っていますか。

選択肢	割合	件数
内容まで知っている	9.6%	69
名前は知っている(聞いたことがある)	53.7%	385
知らない	36.7%	263
	100.0%	717

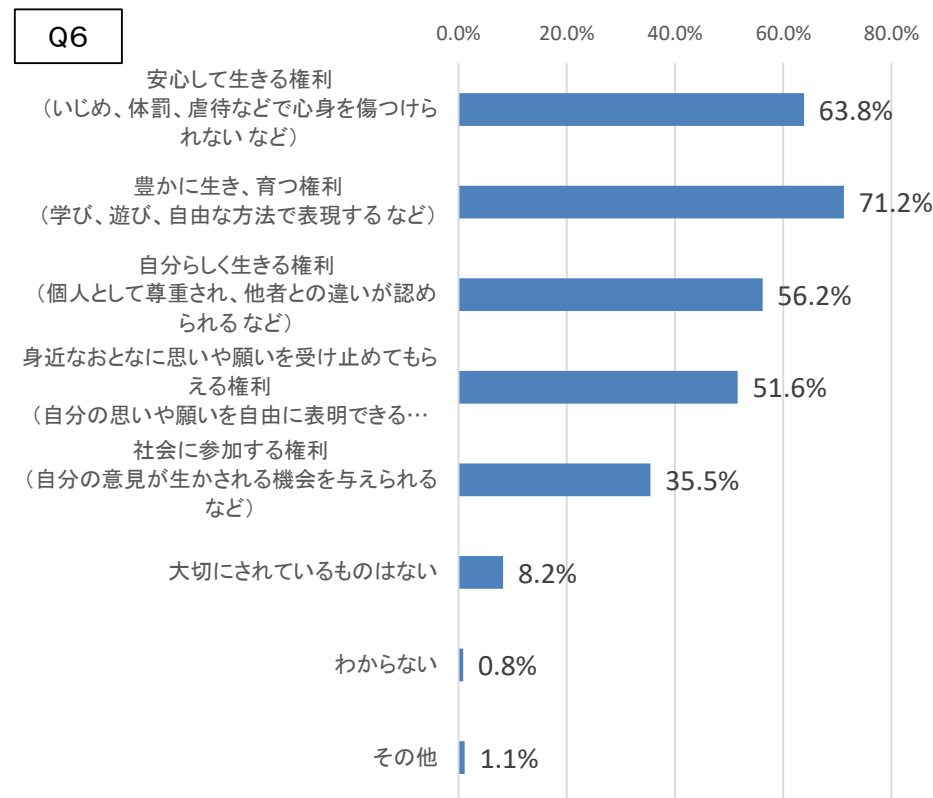
n= 717

⇒「内容まで知っている」または「名前は知っている(聞いたことがある)」と回答した人の割合が64%であり、昨年度と同調査(57%)より若干上昇しました。一方、別の調査である令和5年度市政世論調査では、同様の設問で34%(n=2,093)の結果となっており、より幅広い周知が必要です。



Q6 あなたの日々の生活のなかで、以下の子どもの権利は大切にされていると思いますか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
安心して生きる権利 (いじめ、体罰、虐待などで心身を傷つけられない など)	63.8%	459
豊かに生き、育つ権利 (学び、遊び、自由な方法で表現する など)	71.2%	512
自分らしく生きる権利 (個人として尊重され、他者との違いが認められる など)	56.2%	404
身近なおとなに思いや願いを受け止めてもらえる権利 (自分の思いや願いを自由に表明できる など)	51.6%	371
社会に参加する権利 (自分の意見が生かされる機会を与えられる など)	35.5%	255
大切にされているものはない	8.2%	59
わからない	0.8%	6
その他 (内容: 下表参照)	1.1%	8
	288.5%	2,074
		n= 719



⇒「豊かに生き、育つ権利」、「安心して生きる権利」が大切にされていると感じられている一方で、社会参加に関する権利は相対的に低い結果となっています。これは、子ども向けのアンケートでも同様の傾向です。

その他自由記述 (抜粋)
いずれも我が子には大切にしているつもりですが、周りの話を聞くと大切にされていないこともあるのではないかと思います。
居住地域や家庭の差が大きい
接する大人の価値観により場面によって充分とは言えない状況がある。
障害のある子供にも健常者の子供と分け隔てなくやりたいことができる権利
このような条例は不要だと思います。子供に権利があるのは論を待ちませんが、彼らには保護育成が重視されるべきと考えます。
安心して逃げる、頼れる場所がある
大切にされていないのではと思われる、よその子どもの話を聞く機会があります。

Q7からQ9は「お子さんがいる方」が回答

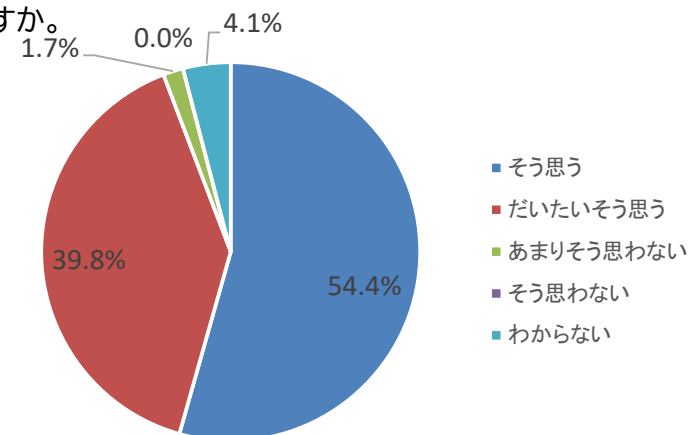
Q7 あなたはお子さんが不安な様子などをしていたら、声をかけたり話を聞いたりしていると思いますか。

選択肢	割合	件数
そう思う	54.4%	348
だいたいそう思う	39.8%	255
あまりそう思わない	1.7%	11
そう思わない	0.0%	0
わからない	4.1%	26
	100.0%	640

n= 640

⇒ 約94%の方が、子どもの不安な様子を見て声掛け等を行っている回答しています。  
 なお、昨年の同回答は約78%でした。

Q7



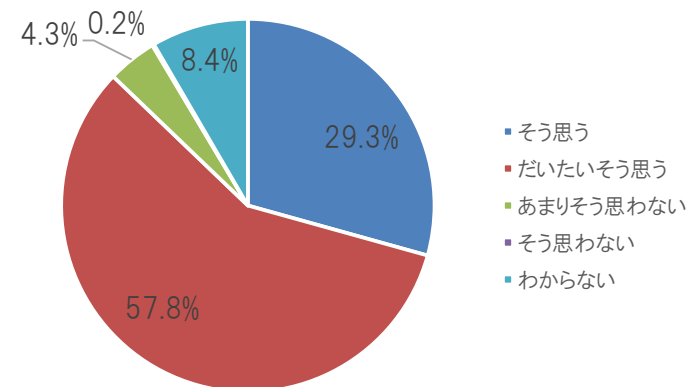
Q8 あなたはお子さんの考えや意見を理解し、尊重していると思いますか。

選択肢	割合	件数
そう思う	29.3%	185
だいたいそう思う	57.8%	365
あまりそう思わない	4.3%	27
そう思わない	0.2%	1
わからない	8.4%	53
	100.0%	631

n= 631

⇒ 回答者の約87%はお子さんの考えや意見を尊重するようにしています。  
 昨年の同回答は約88%で、今年度とほぼ同様の結果でした。

Q8



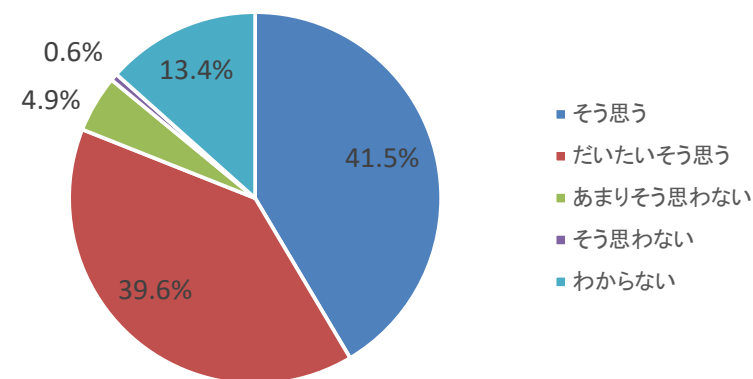
Q9 お子さんは「自分のことが好き」と考えていると思いますか。

選択肢	割合	件数
そう思う	41.5%	260
だいたいそう思う	39.6%	248
あまりそう思わない	4.9%	31
そう思わない	0.6%	4
わからない	13.4%	84
	100.0%	627

n= 627

⇒おとなの81%が、子どもは「自分のことが好き」と考えていると思うかについて、「そう思う」と回答しています。なお、同様の趣旨の子どもへの質問で「自分のことが好き(とても好きを含む)」と回答した方は約55%でした。

Q9



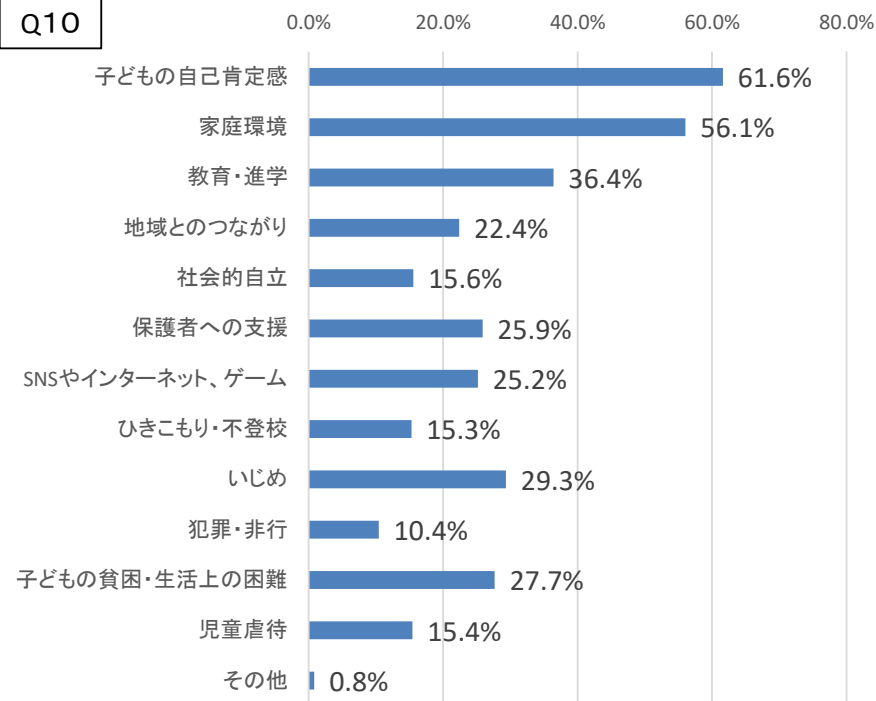
Q10 あなたが子どもを取り巻く課題として重要だと思うものは何ですか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
子どもの自己肯定感	61.6%	443
家庭環境	56.1%	403
教育・進学	36.4%	262
地域とのつながり	22.4%	161
社会的自立	15.6%	112
保護者への支援	25.9%	186
SNSやインターネット、ゲーム	25.2%	181
ひきこもり・不登校	15.3%	110
いじめ	29.3%	211
犯罪・非行	10.4%	75
子どもの貧困・生活上の困難	27.7%	199
児童虐待	15.4%	111
その他 (内容: 自分の考えをしっかりと伝えること)	0.8%	6
	243.1%	2,460

n= 719

⇒子どもを取り巻く課題として重要なものとして、「自己肯定感」「家庭環境」が多数を占める結果となり、次いで「教育・進学」「いじめ」「子どもの貧困・生活上の困難」が重要と考えられています。傾向は昨年度の同調査と大きな変化はありません。

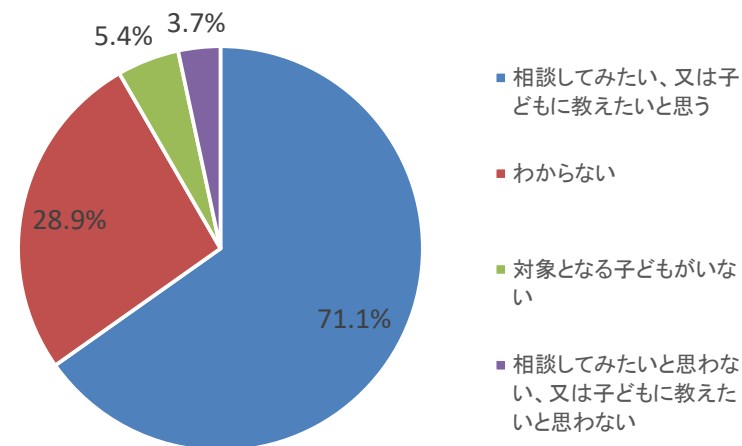
Q10



Q11 新潟市では、子どもの権利が守られていないときなどに、子どもや子どもに関わるおとなが悩みを相談し、その解決に向けた対応を行う窓口を作る予定です。このような窓口ができれば相談してみたい、又は子どもに教えたいと思いますか。

Q11

選択肢	割合	件数
相談してみたい、又は子どもに教えたいと思う	71.1%	446
わからない	28.9%	181
対象となる子どもがいない	5.4%	34
相談してみたいと思わない、又は子どもに教えたいと思わない	3.7%	23
	109.1%	684
	n=	684



⇒約7割が、「相談してみたい、又は子どもに教えたいと思う」と回答しており、一定のニーズがあることが伺えます。一方で、一部否定的な意見も見受けられることから、理解の促進が必要と考えられます。

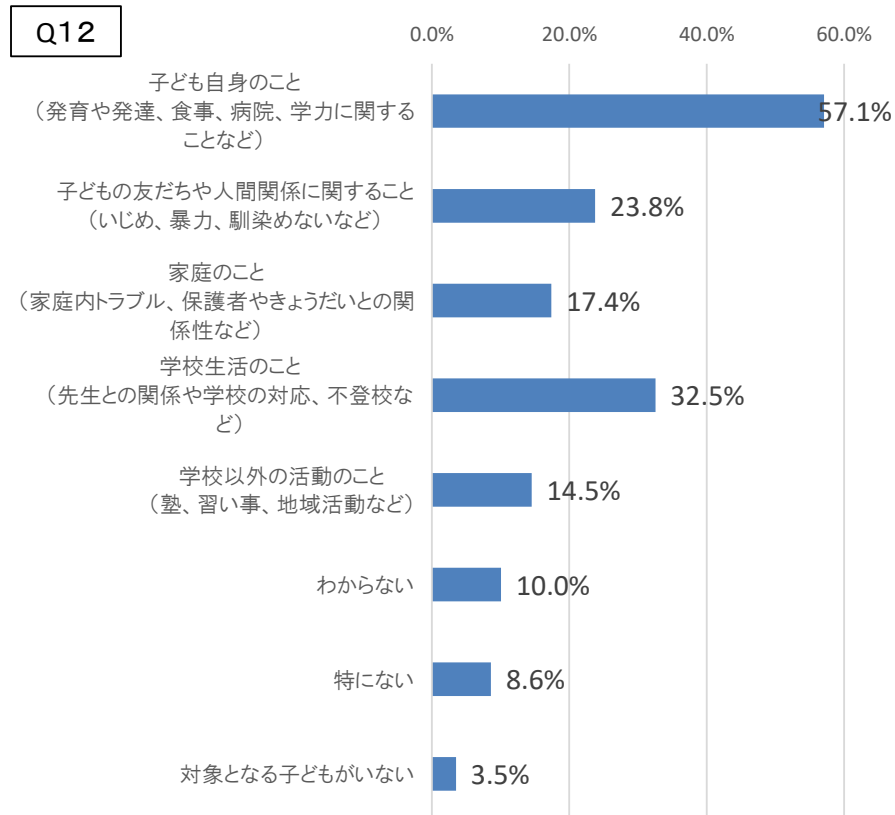
その他自由記述 (抜粋)
「子どもの権利が守られていないとき」という事が、わかりにくく、相談しづらいと思います。
広く、子育て全般、子どもに関わる相談、などのほうが、相談しやすいと思います。
解決になるかわからないから
今のところ、必要性がないから。
今のところ相談が必要な事象が自身の周りでは起こっていないが、相談する際、学校ではなく第三者機関の位置付けになるので良いと思う。
子どもに教えるが、頼りなさそうなので親は相談したいと思わない
手軽に出来るSNSとかなら良いけど行かないといけない系だと行かないと思う
相談窓口があることはいいことだが、肝心の子どもは相談しづらいのではないのでしょうか。まずは子ども条例を学校で道徳の時間などにわかりやすく教えることで、信頼できる大人に相談していいよということを知ってもらった方が先だと思います。例えばCAPはともわかりやすく伝わる方法の1つだと思います。

Q12 新潟市では、子どもの権利が守られていないときなどに、子どもや子どもに関わるおとなが悩みを相談し、その解決に向けた対応を行う窓口を作る予定です。このような窓口ができれば相談してみたい、又は子どもに教えたいと思いますか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
子ども自身のこと (発育や発達、食事、病院、学力に関する事など)	57.1%	358
子どもの友だちや人間関係に関する事 (いじめ、暴力、馴染めないなど)	23.8%	149
家庭のこと (家庭内トラブル、保護者やきょうだいとの関係性など)	17.4%	109
学校生活のこと (先生との関係や学校の対応、不登校など)	32.5%	204
学校以外の活動のこと (塾、習い事、地域活動など)	14.5%	91
わからない	10.0%	63
特にない	8.6%	54
対象となる子どもがない	3.5%	22
	167.5%	1,050

n= 719

⇒「子ども自身のこと」を相談したいと考える方が約5割、次いで、「学校生活のこと」が約3割、「子供の友達や人間関係に関する事」が約2割と続いています。



その他自由記述 (抜粋)
様々なサービスや支援が知りたい
虐待までは行かないが、余裕がなく子どもさんにイラついている人に対して、どう接したらいいか知りたい。
親不在の長期休みの居場所について
子供の権利が遵守されることは大切だと思うが、親権者等の保護責任者がしっかりと注意すべきことは注意しないといけないと思う。道路で遊ぶことは権利でも何でも無い。甘やかし過ぎる方もいます。
「子どもの権利に関する事」というのが、わかりにくい。子どもが、冊子などを学校からもらってきましたが、こういう事に予算を使うのではなく、もっと直接的に子どものためになることに予算を使うほうが効果的だと思います。
行政は所詮、当たり障りのない、肝心な時に助けてくれなさそう。予算がないとか、実績がないとか言ってる